

迎古夢旅 4656 : イベリア半島・道・路・途 P185



イベリア半島に限らず、こうした光景の場面に出会うと、
この道は、どこに行くのだろう。どんな出会いがあるのだろう。いろいろ考えてしまう。

異国への、ひとり旅という、旅のスタイル。

イベリア半島取材の画像記録を整理していて、「みち」が気になった。
早速、辞書を確認。下記のような説明がされている。なかなか、**奥深い言葉**である。

○ **人の通行するところ。経過する間。通りみち。**

道路・道途・道程・道中・道標・道祖神・道聴塗説・大道・国道・街道(かいどう)・
間道・水道・食道・糧道・赤道・軌道・鉄道・歩道・隧道(すいどう)

○ **人の守るべき義理。宇宙の原理。教え。**

道徳・道心・道理・道義・正道・邪道・外道(げどう)・常道・王道・仏道・
八道・極道(ごくどう)・得道(とくどう)・没義道(もぎどう)・武士道

みち【道・路・途】 [道・途] 途中。「一で買物をする」
[道・途] 道のり。道程。「一は遠い」[道] 人がふみ行うべきこと。道徳。道理。「一を説く」
[道] その人が手がけている方面。専門。「その一の達人」

難しい話をするつもりは、さらさらない。ただ、記録画像を整理していて、
思い浮かんだ次第。単なる画像だが、いろいろ考えると面白いと思ったので、書いてみた。

